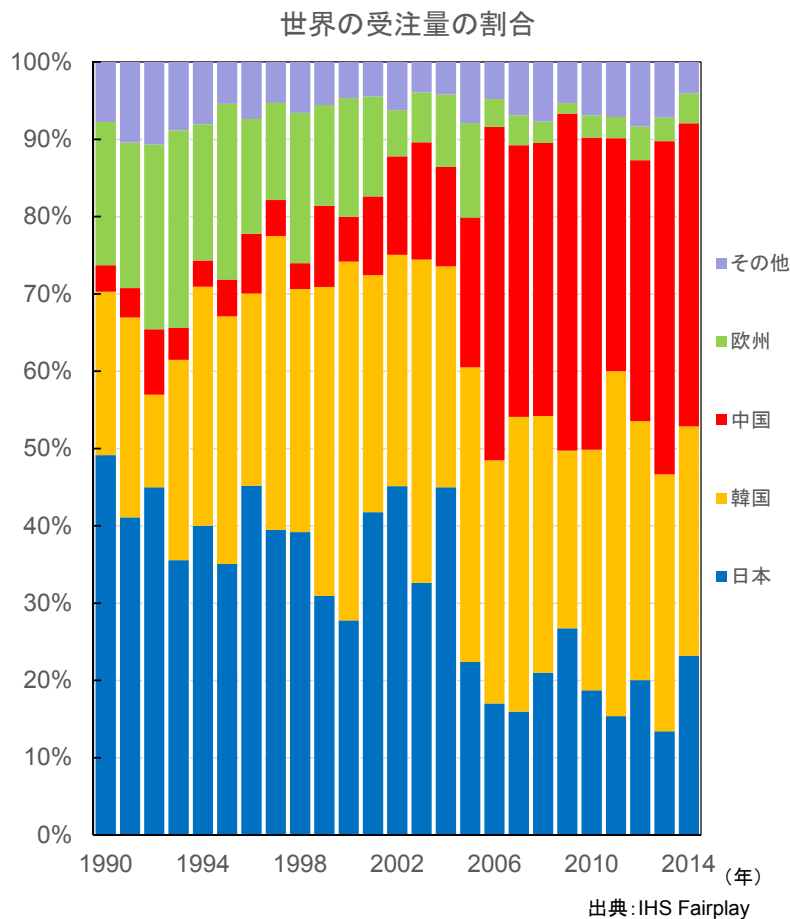
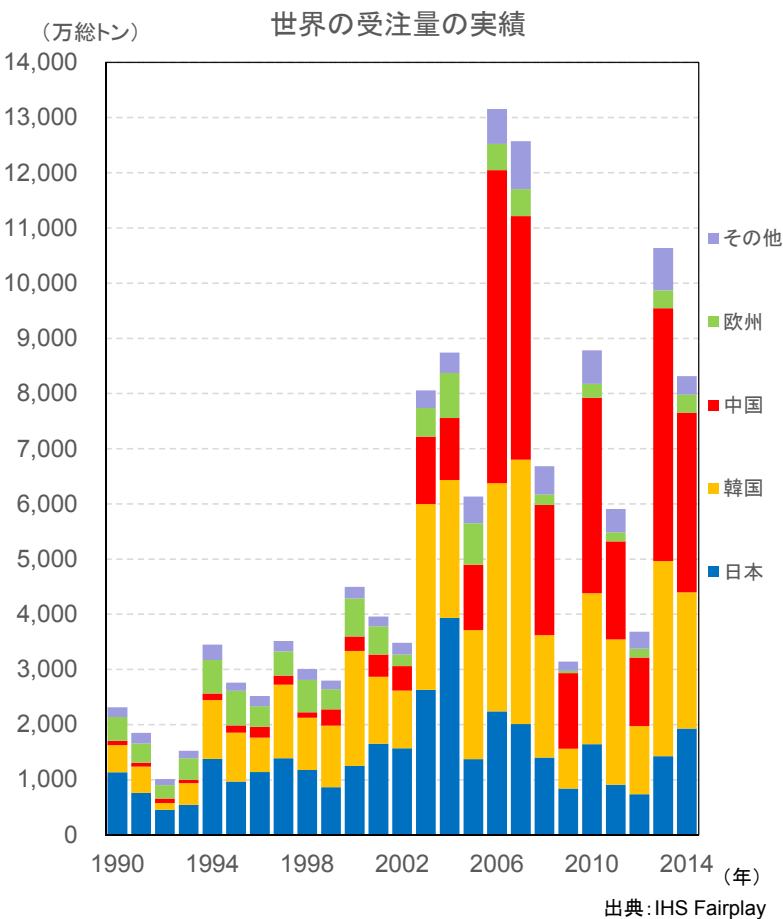


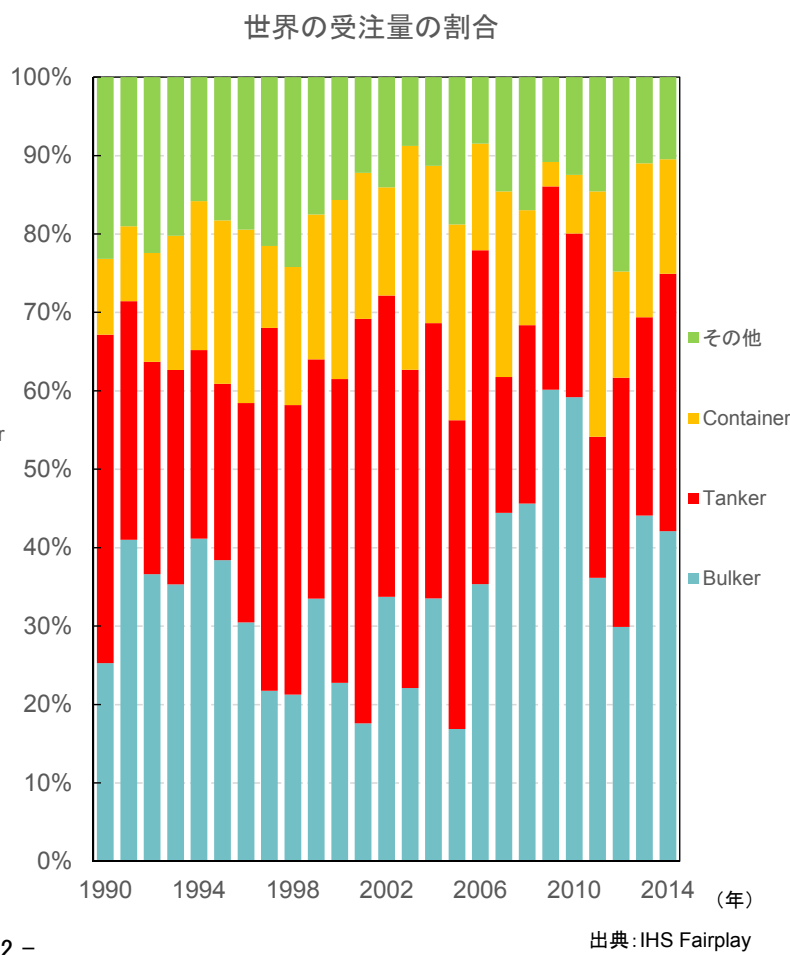
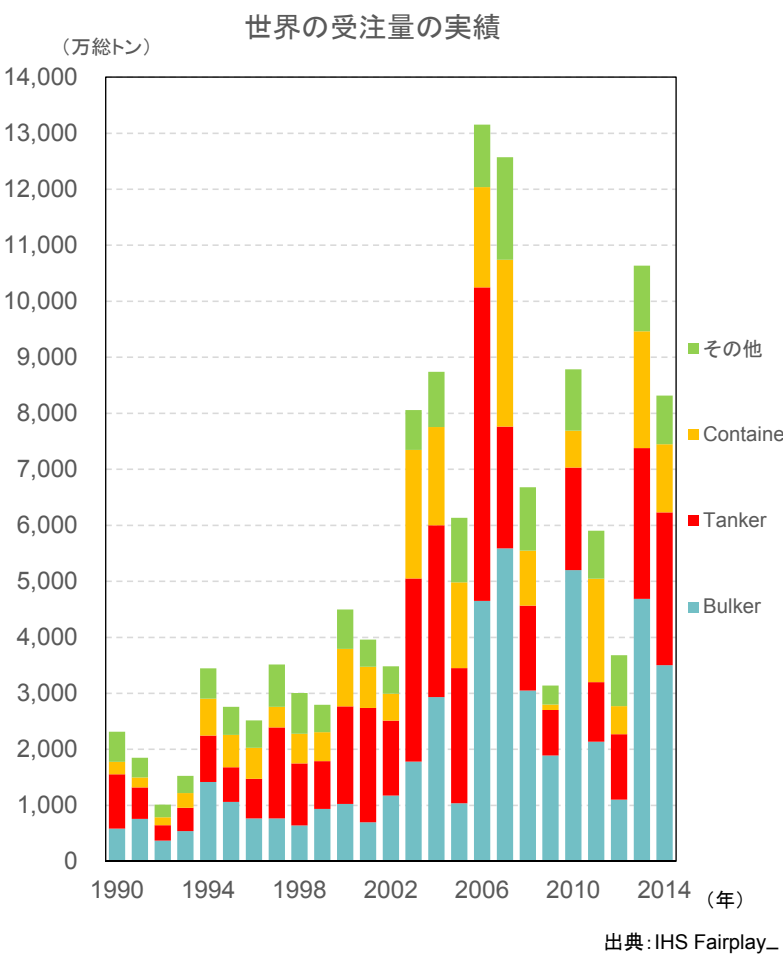
造船業の概況

新造船受注量の推移(世界の国別)

2014年は、世界全体の受注量は前年より減少する一方で、日本の受注量は実績、シェア共に前年より増加。

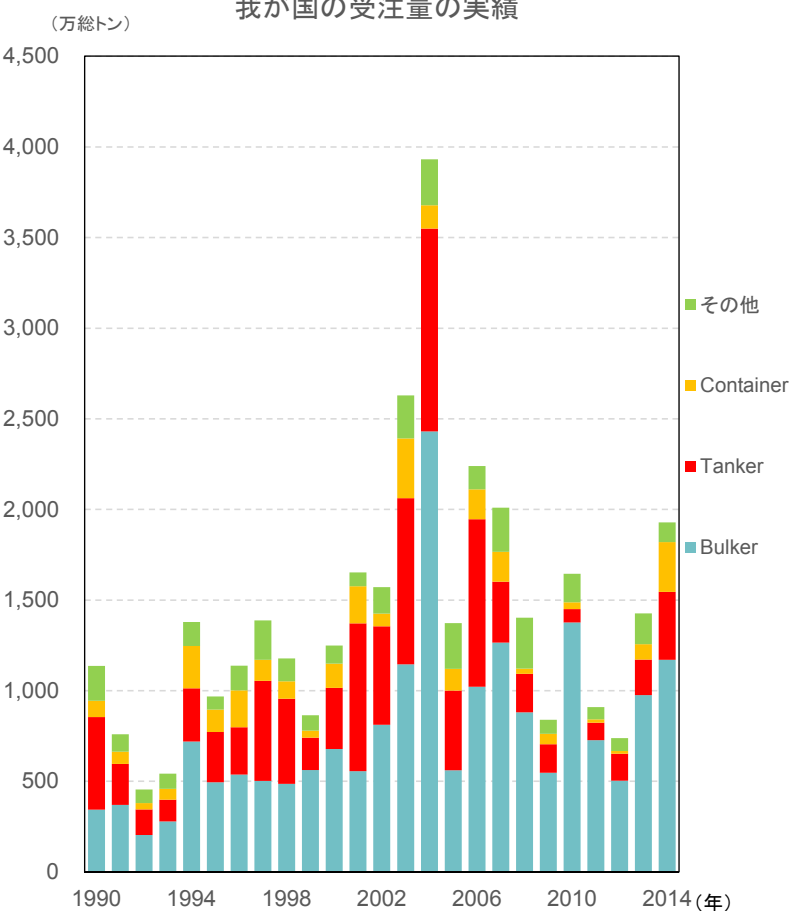


新造船受注量の推移(世界の船種別)

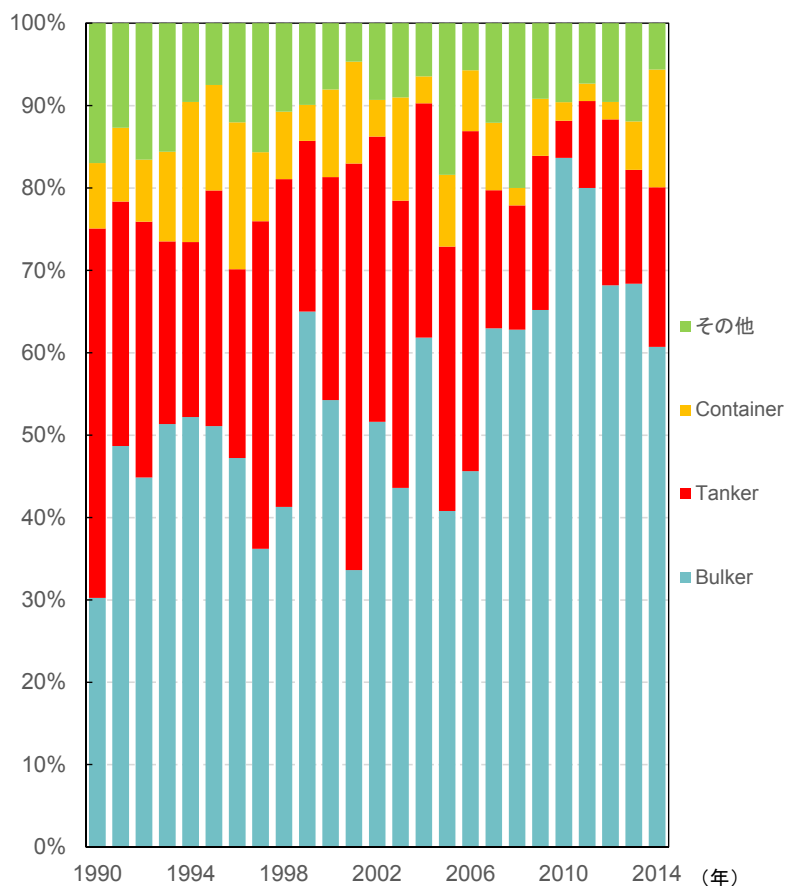


新造船受注量の推移(我が国の船種別)

我が国の受注量の実績



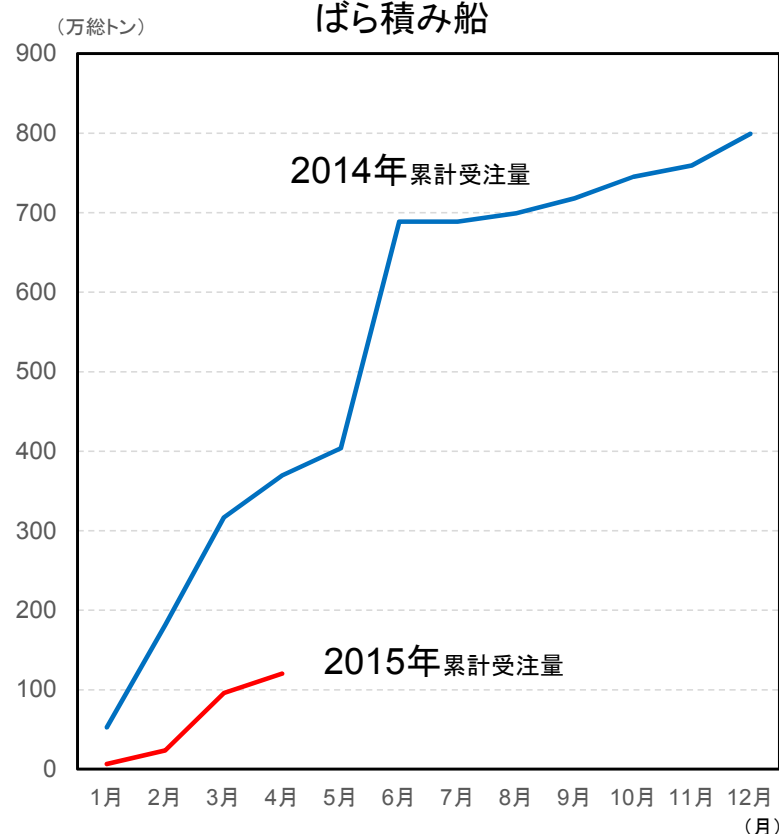
我が国の受注量の割合



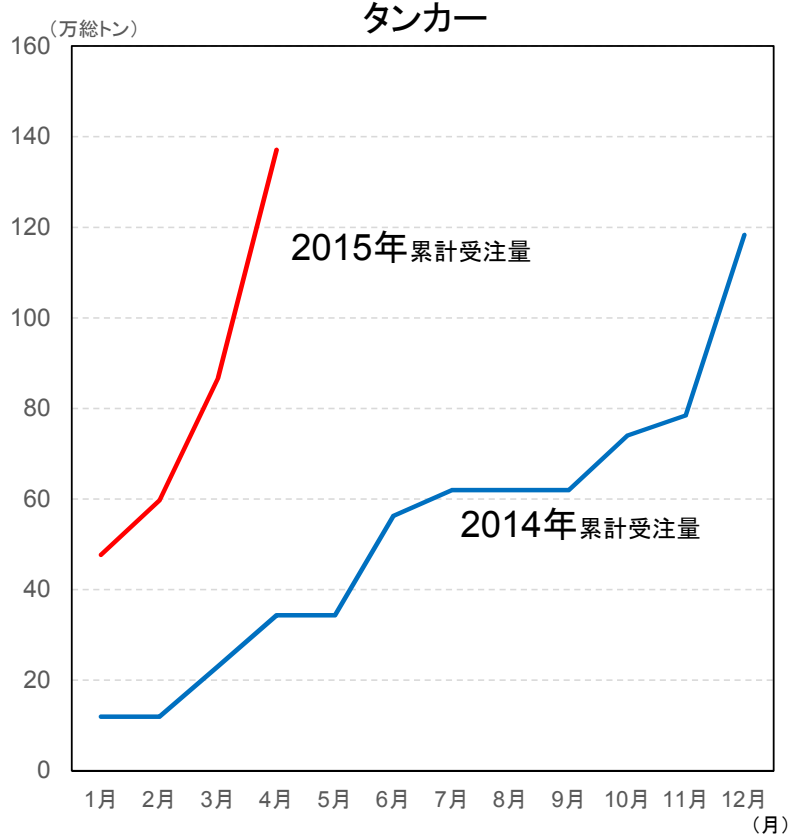
我が国の輸出船受注量の推移(ばら積み船、タンカー)

2014年央よりばら積み船の受注量が減少。
一方タンカーの受注量は増加。

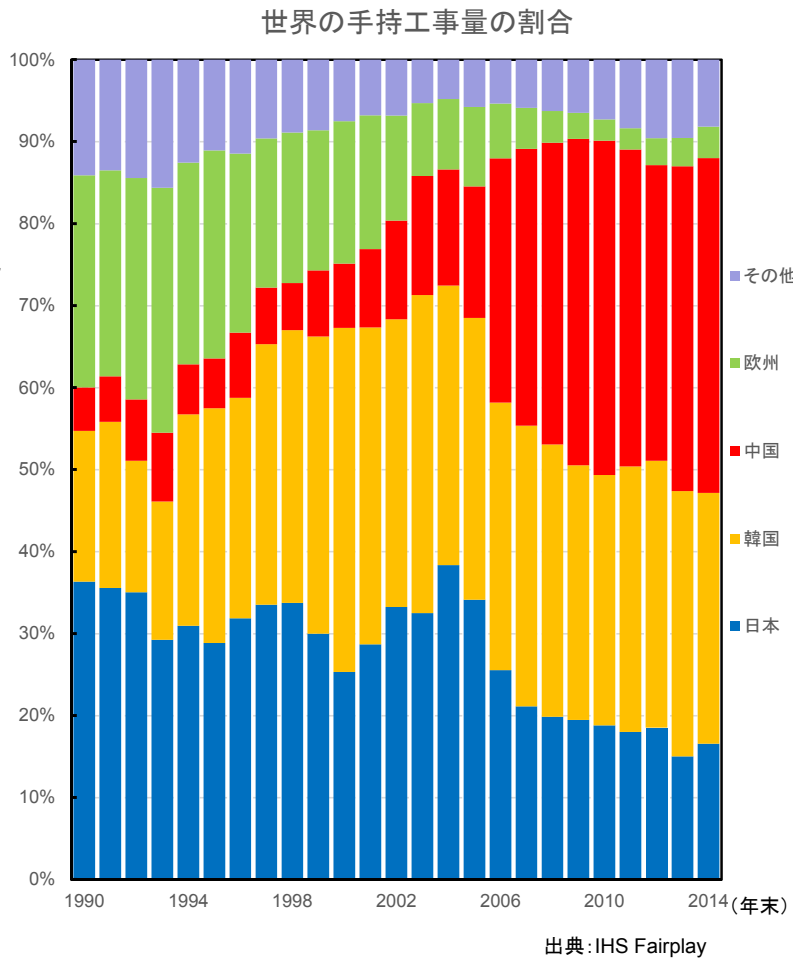
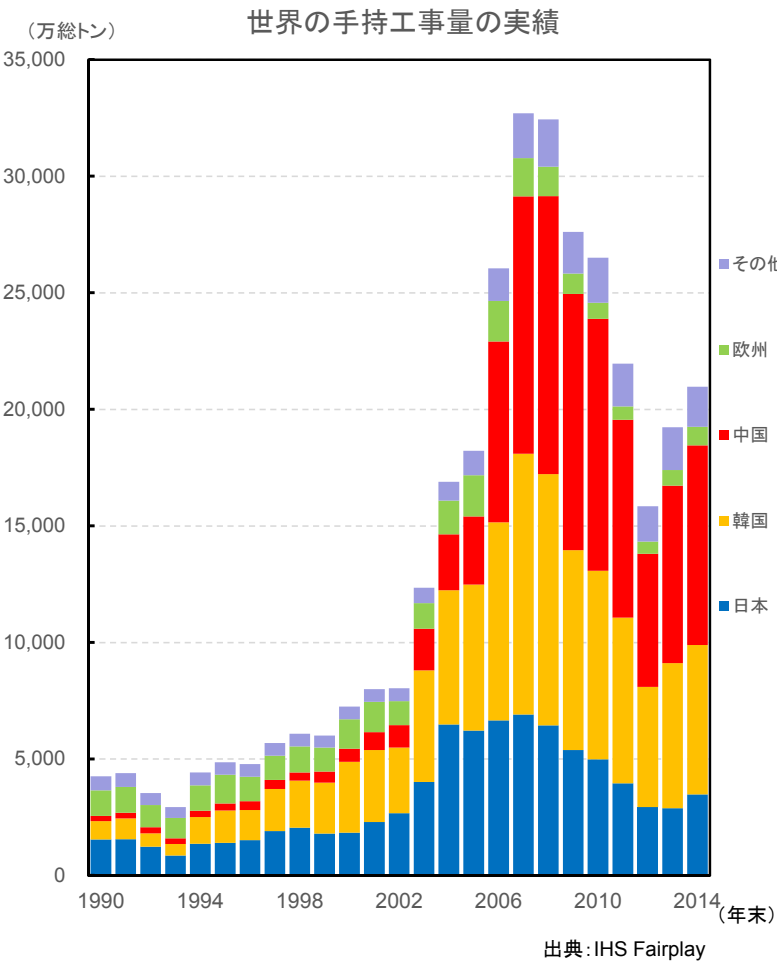
ばら積み船



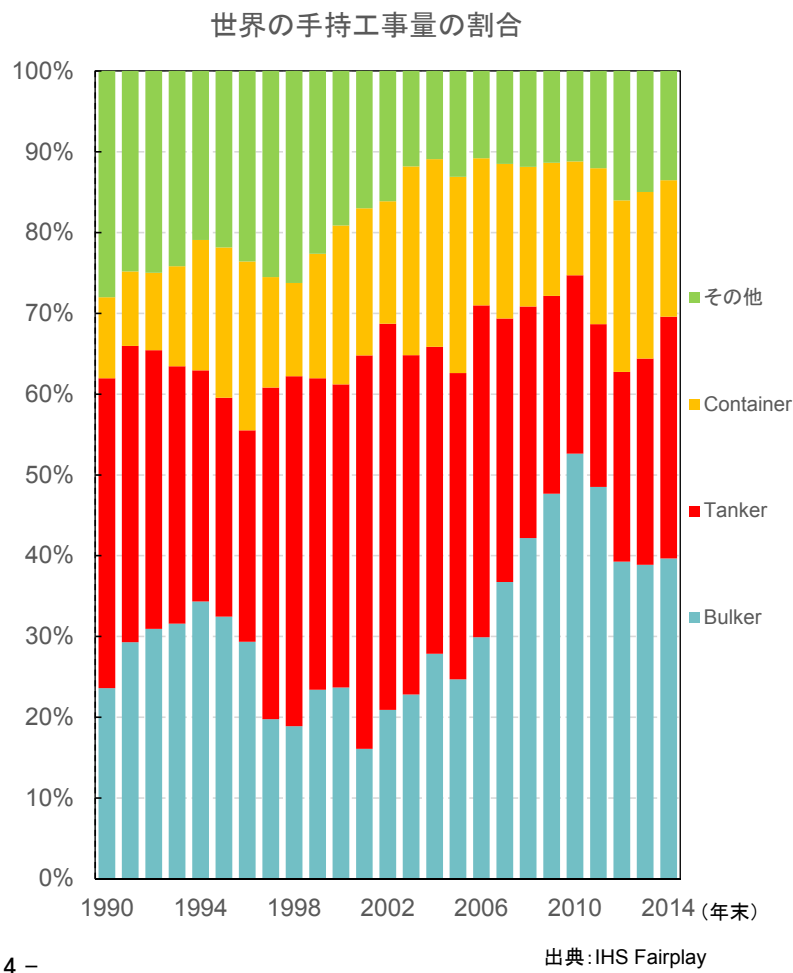
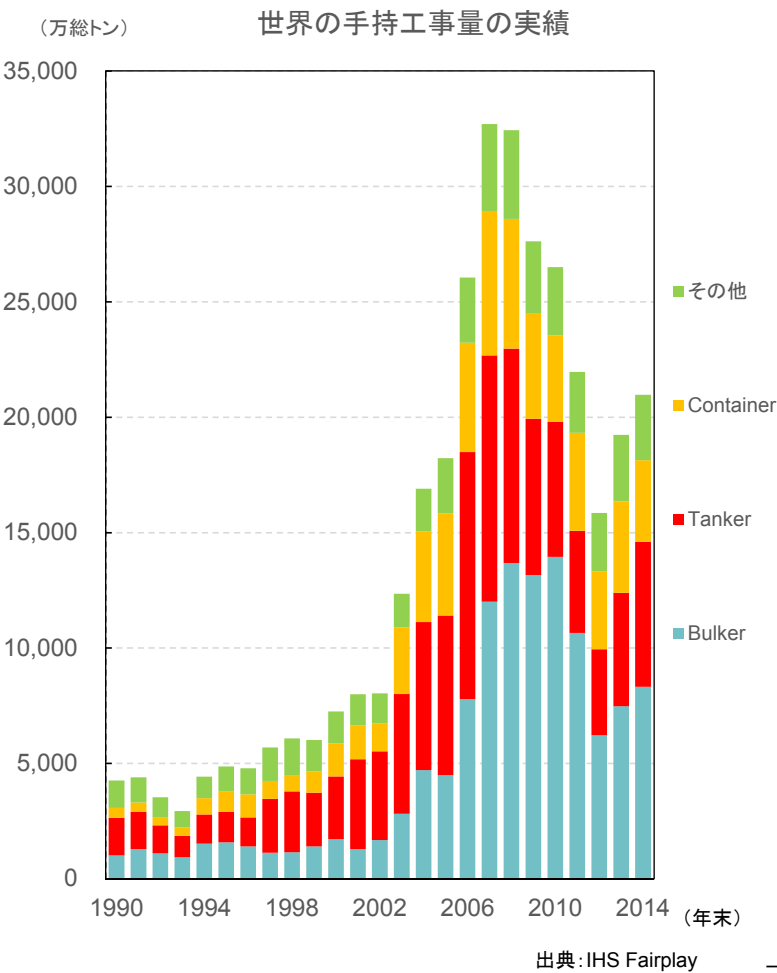
タンカー



新造船手持工事量の推移(世界の国別)



新造船手持工事量の推移(世界の船種別)

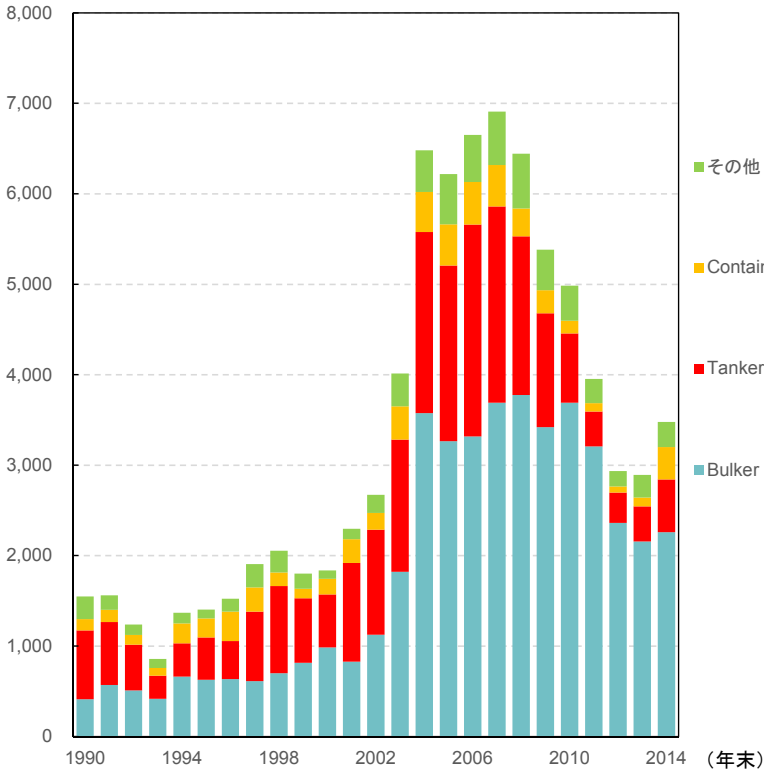


新造船手持工事量の推移(我が国の船種別)

2014年末の手持工事量は3,477万総トン。
年間建造量を1,500万総トンとすれば、2年超の手持ち工事量を確保。

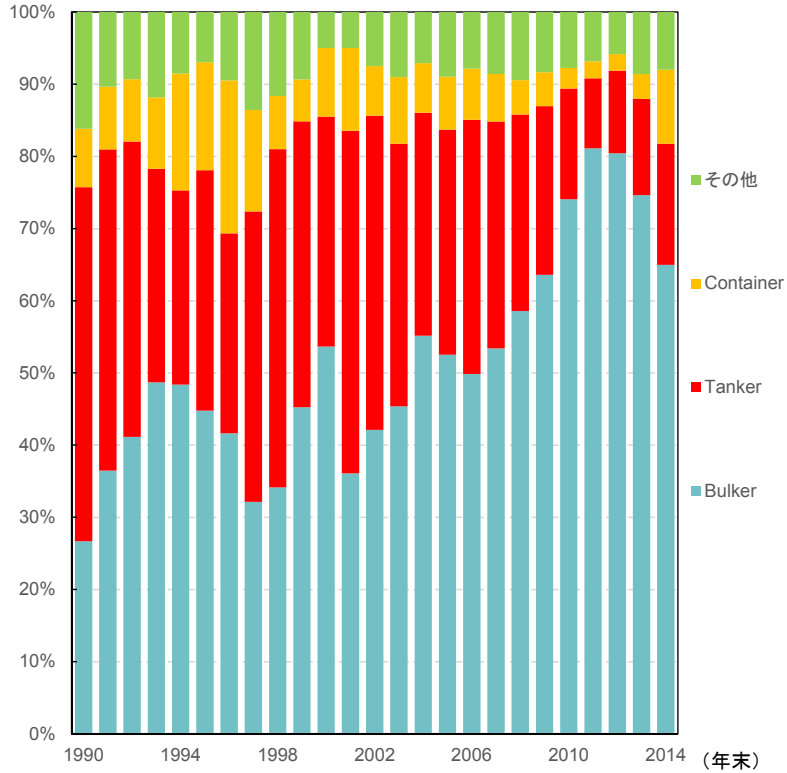
(万総トン)

我が国の手持工事量の実績



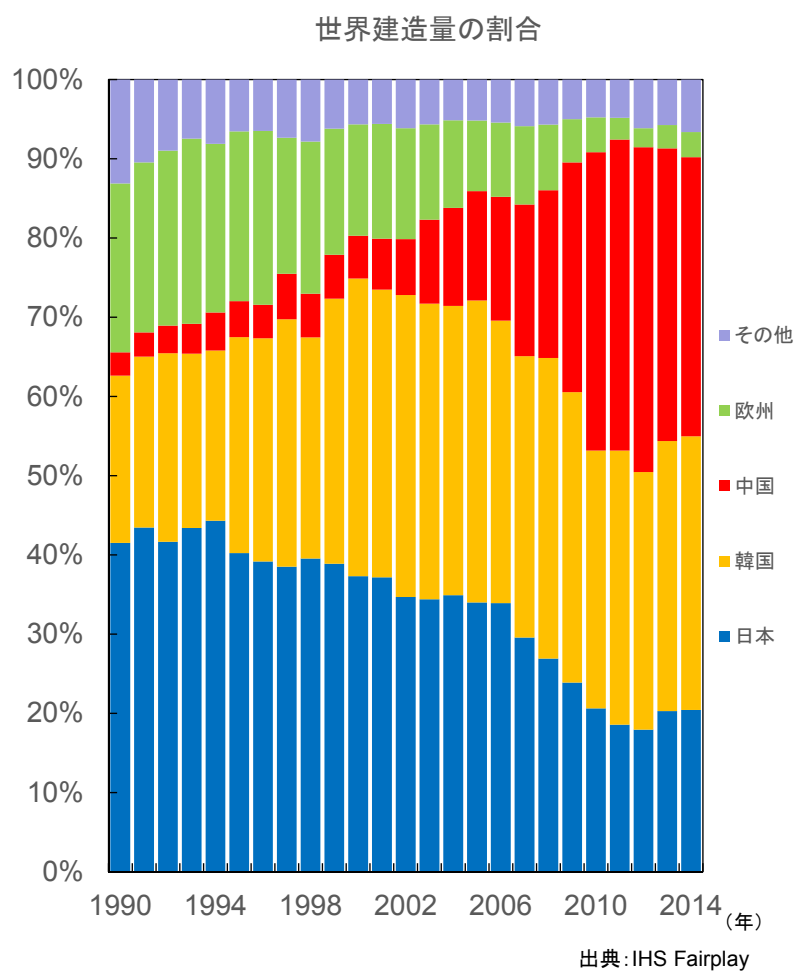
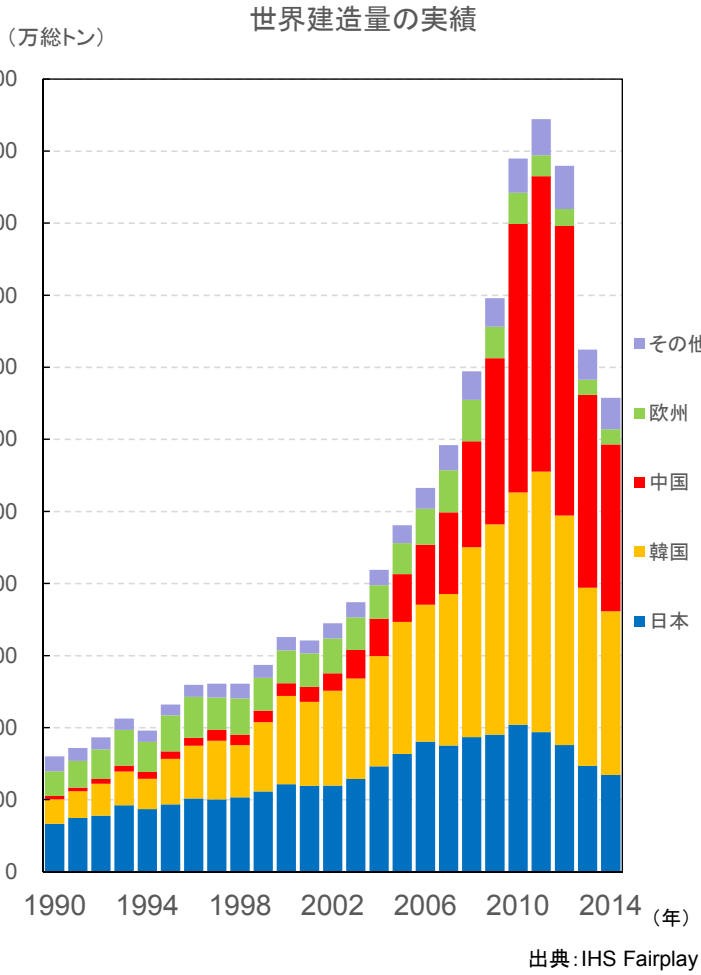
出典: IHS Fairplay

我が国の手持工事量の割合

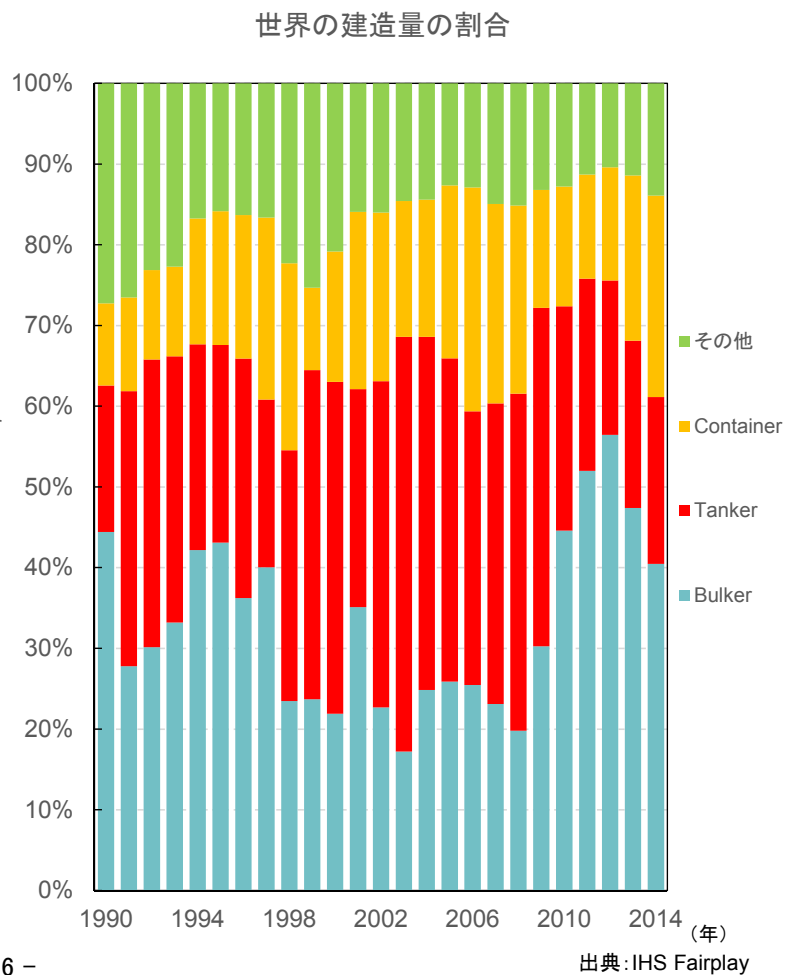
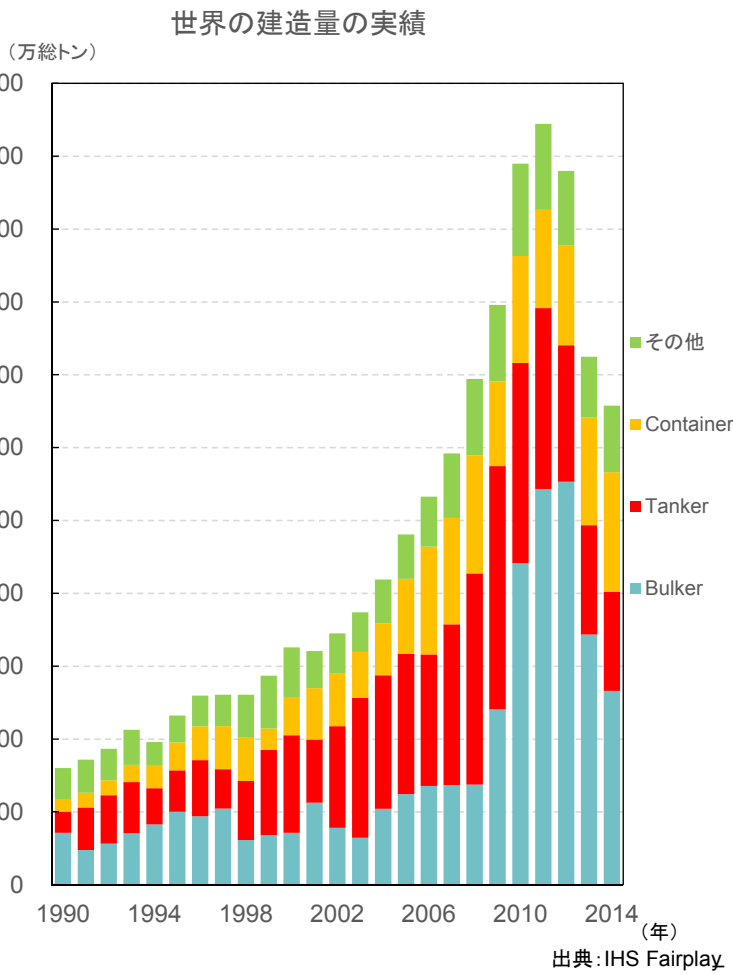


出典: IHS Fairplay

新造船建造量の推移(世界の国別)

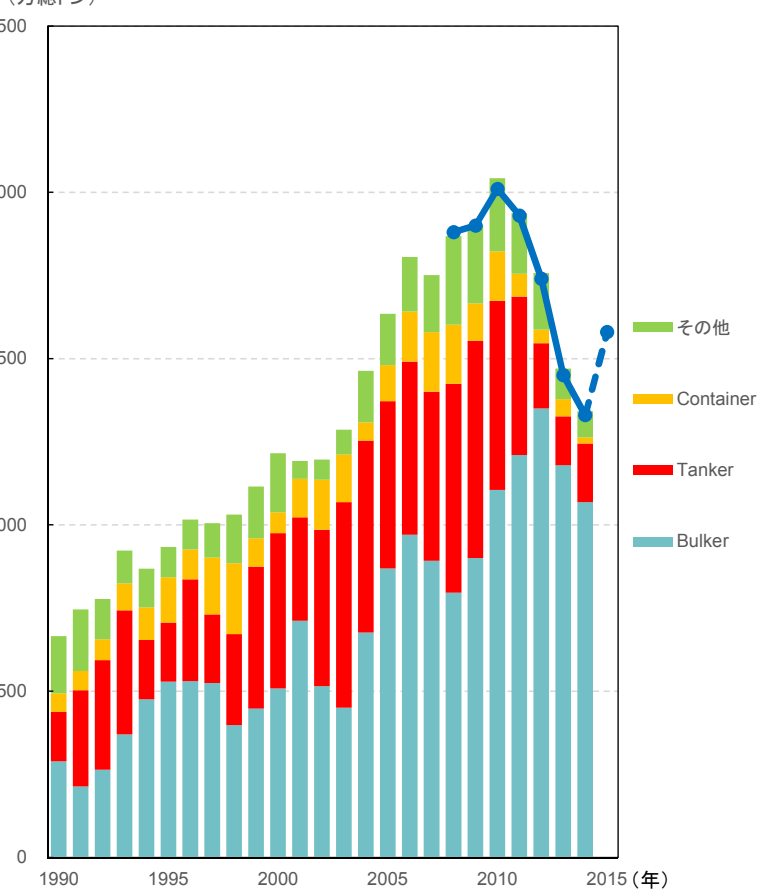


新造船建造量の推移(世界の船種別)

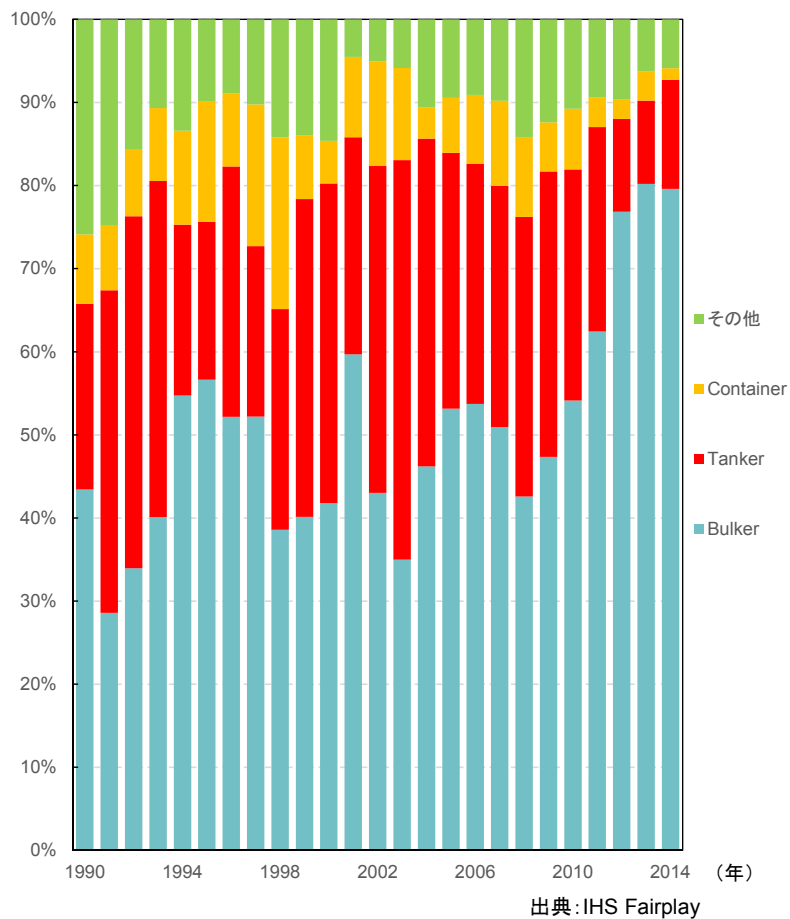


新造船建造量の推移(我が国の船種別)

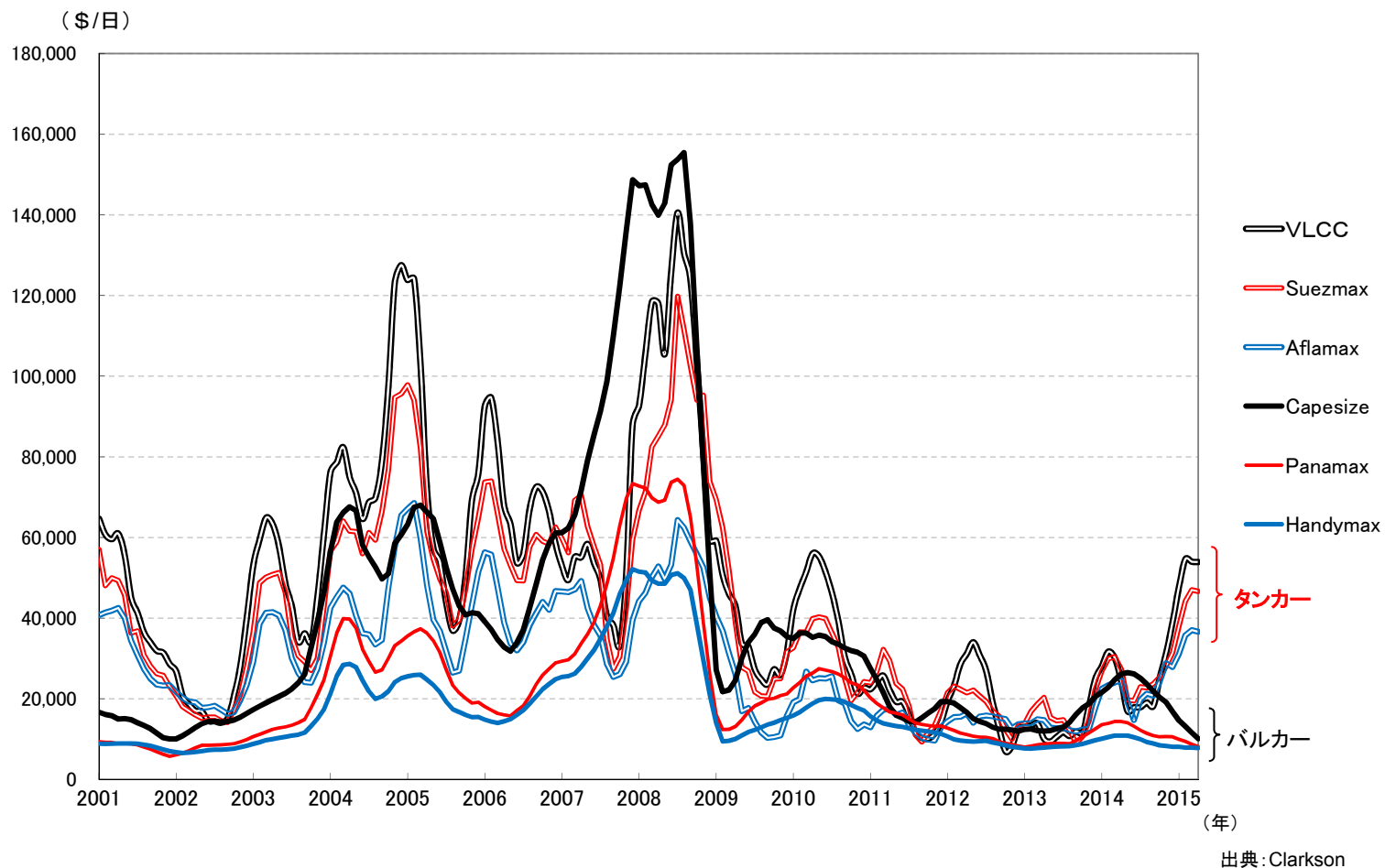
我が国の建造量の実績と見通し



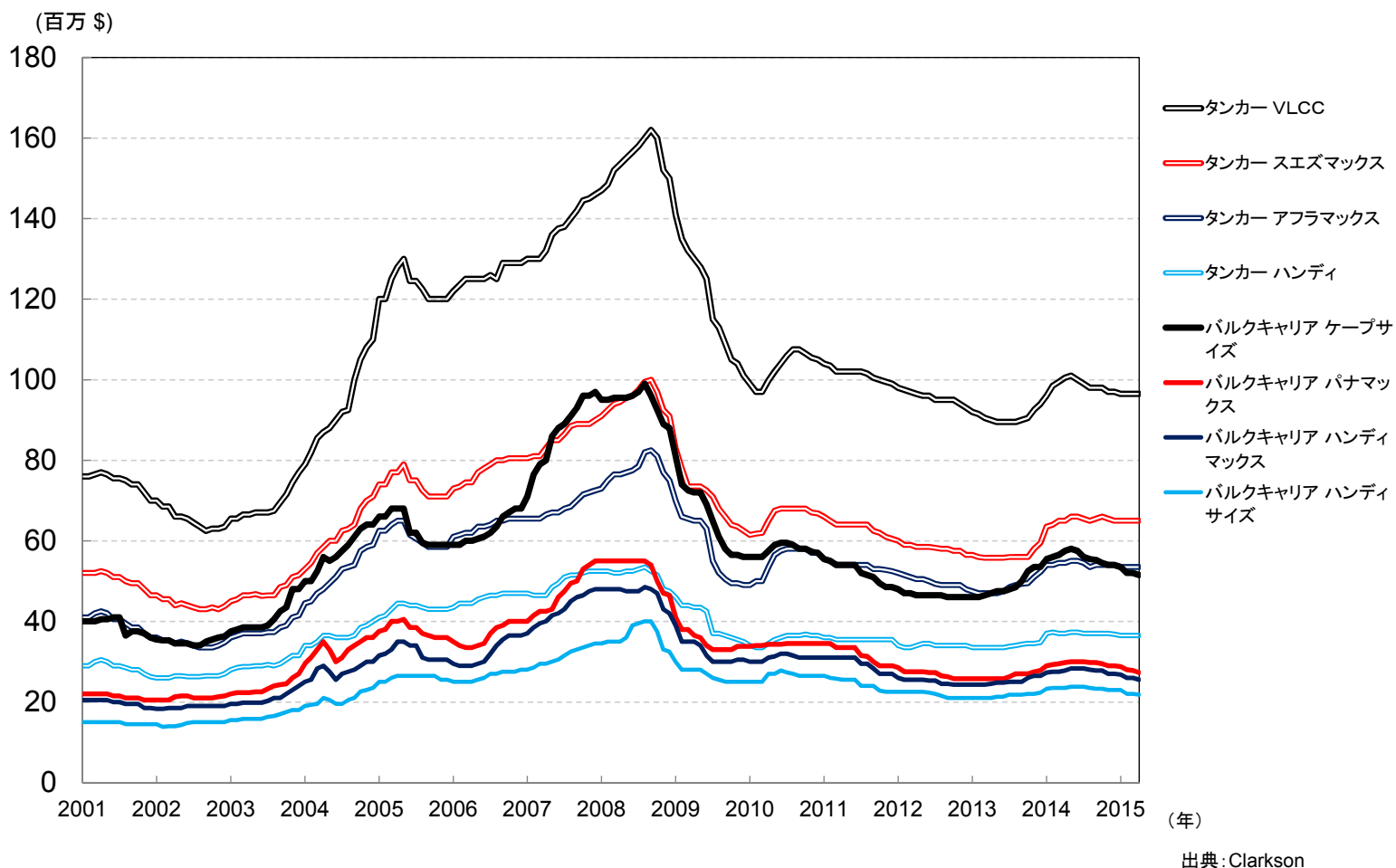
我が国の建造量の割合



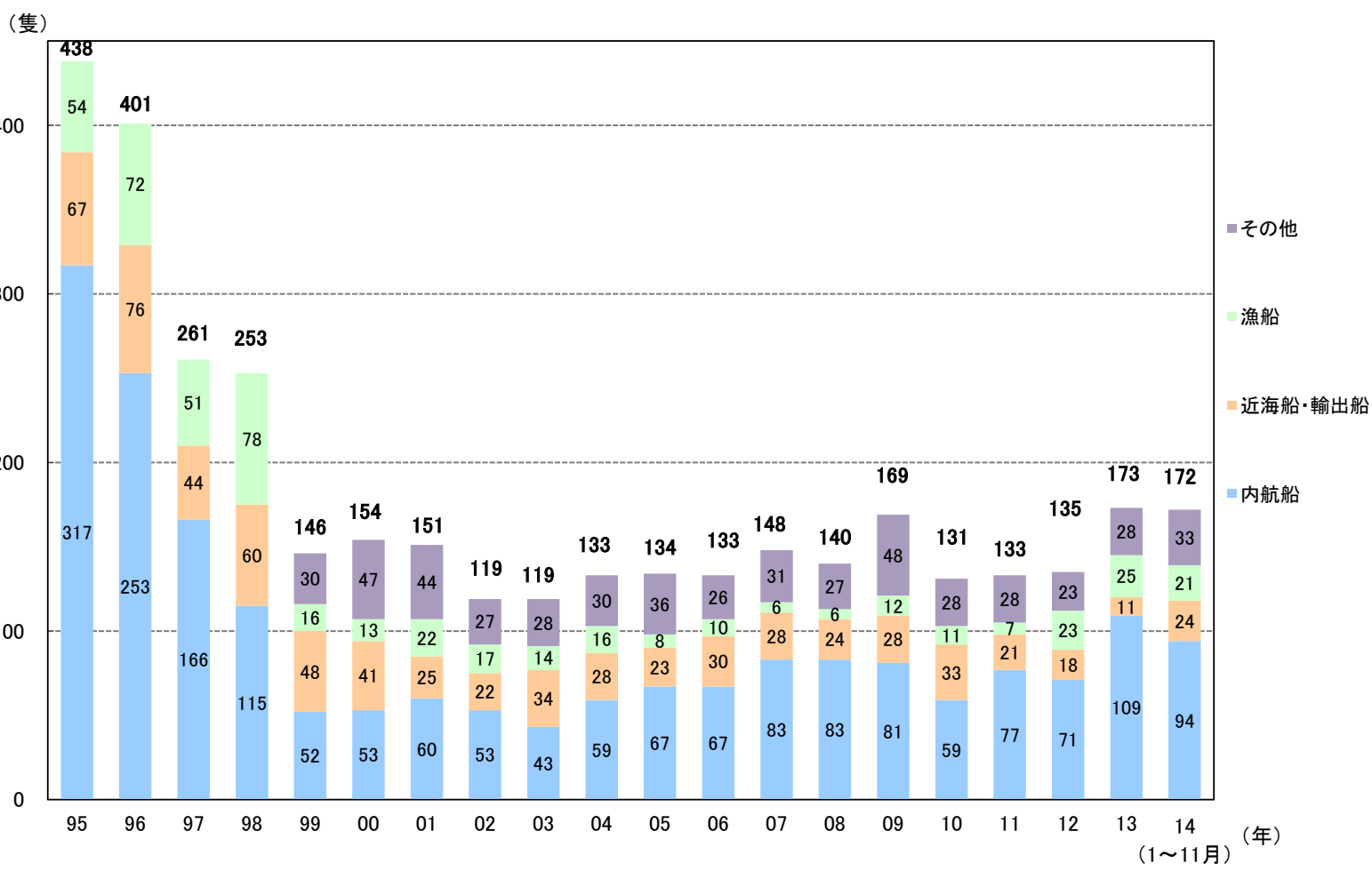
海上運賃の推移



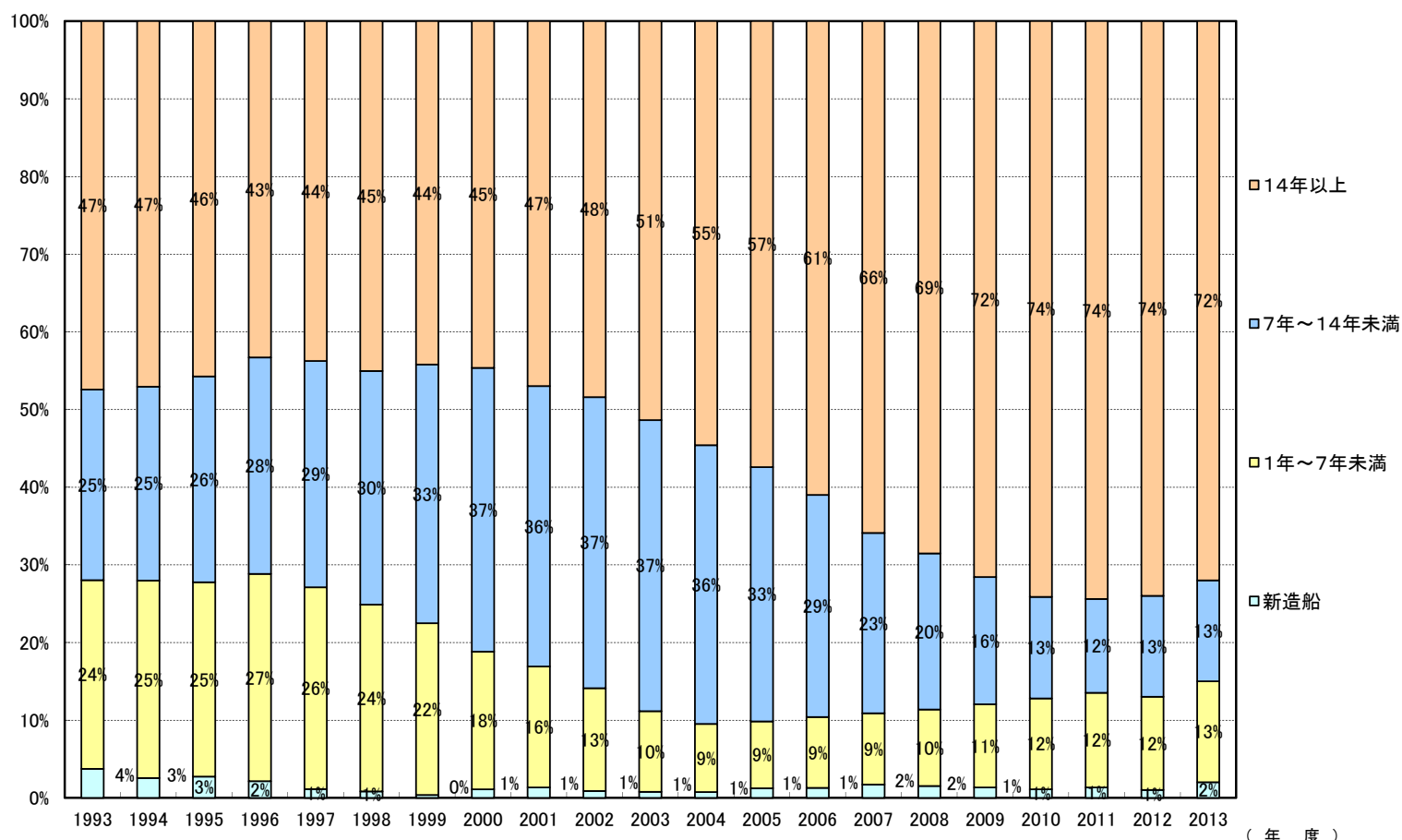
船価の推移



中小型船舶の新造船建造隻数の推移

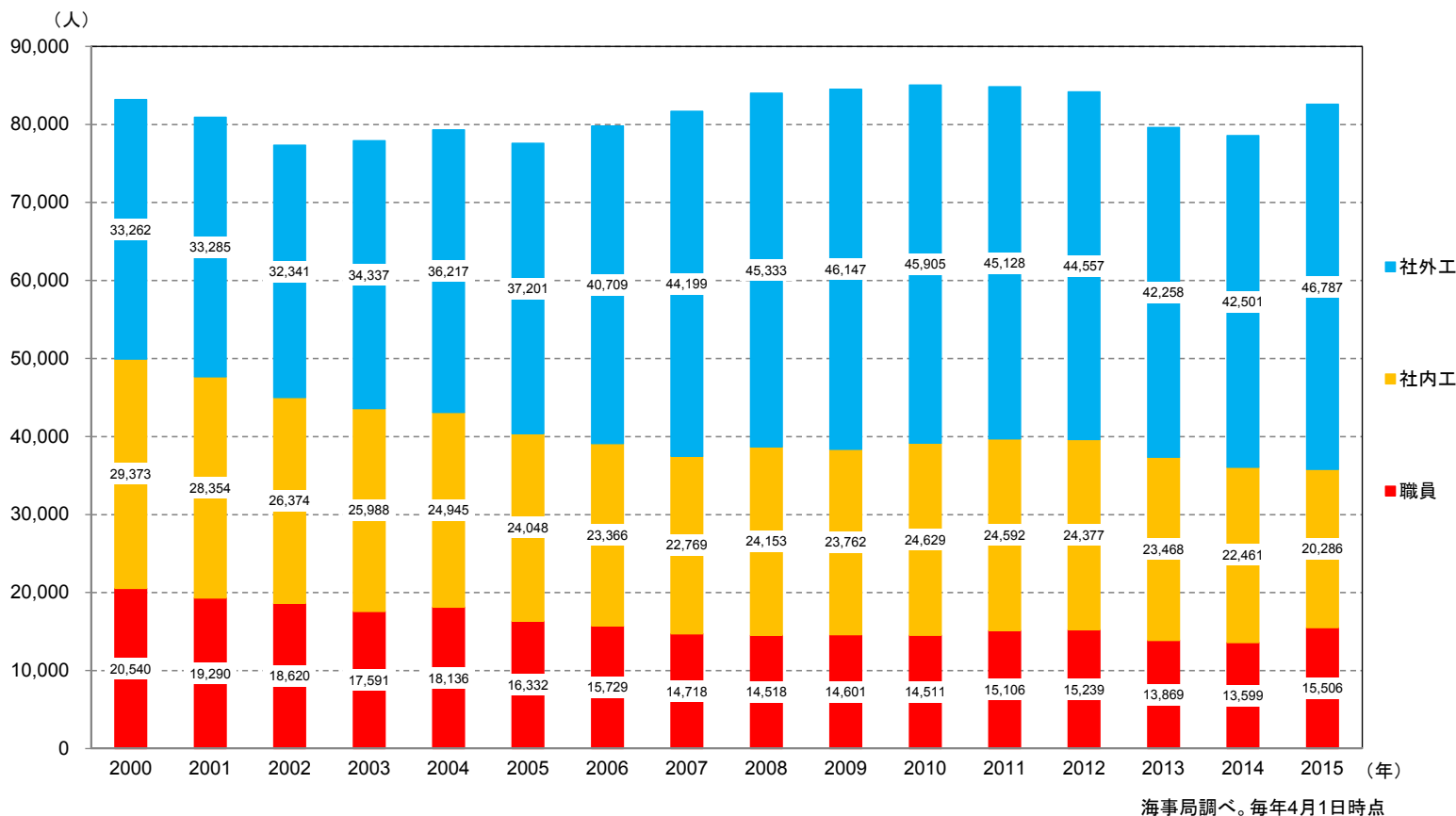


内航船舶の船齢構成の推移



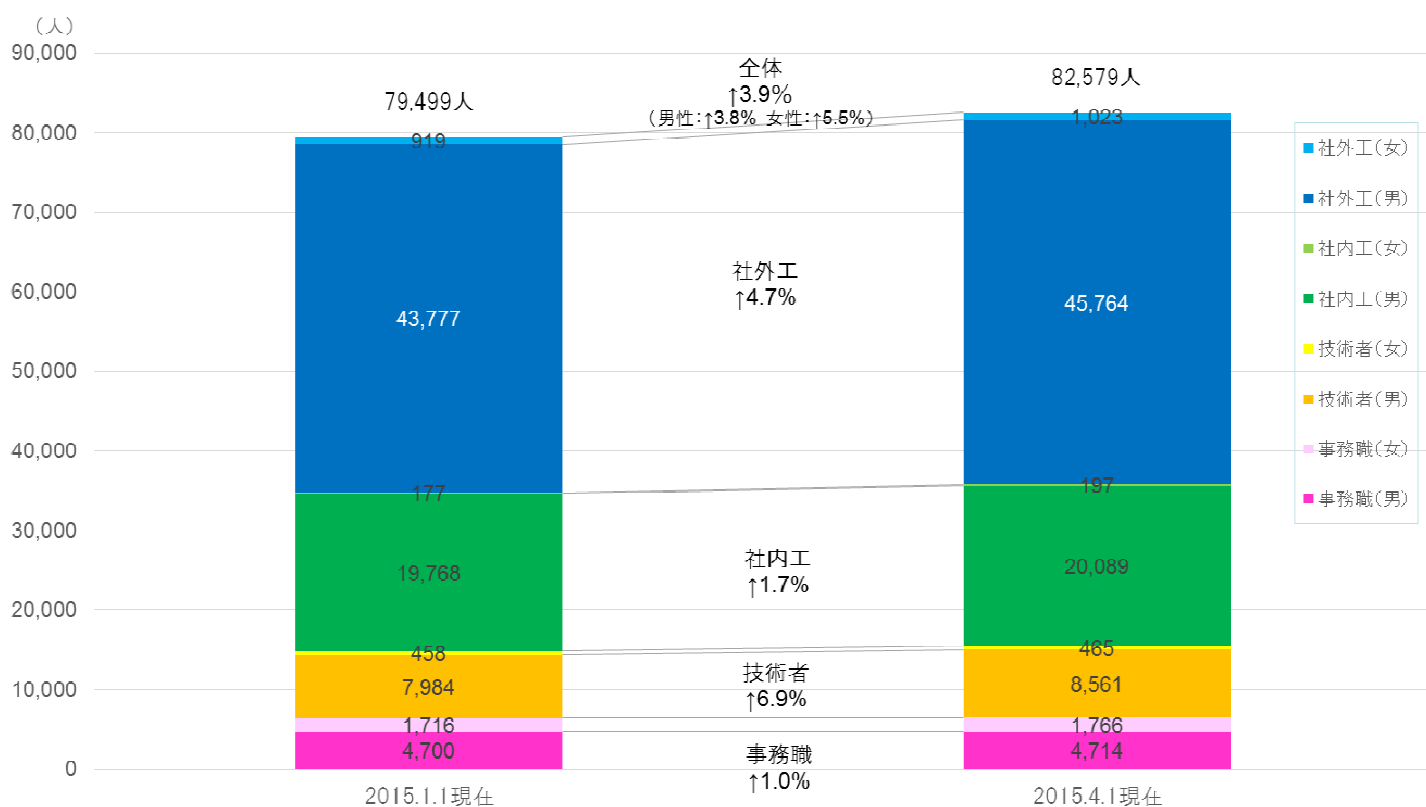
我が国造船業の就労者数の推移

2015年4月1日時点の就労者数は、昨年同時期より増加。
社内工は減少傾向。



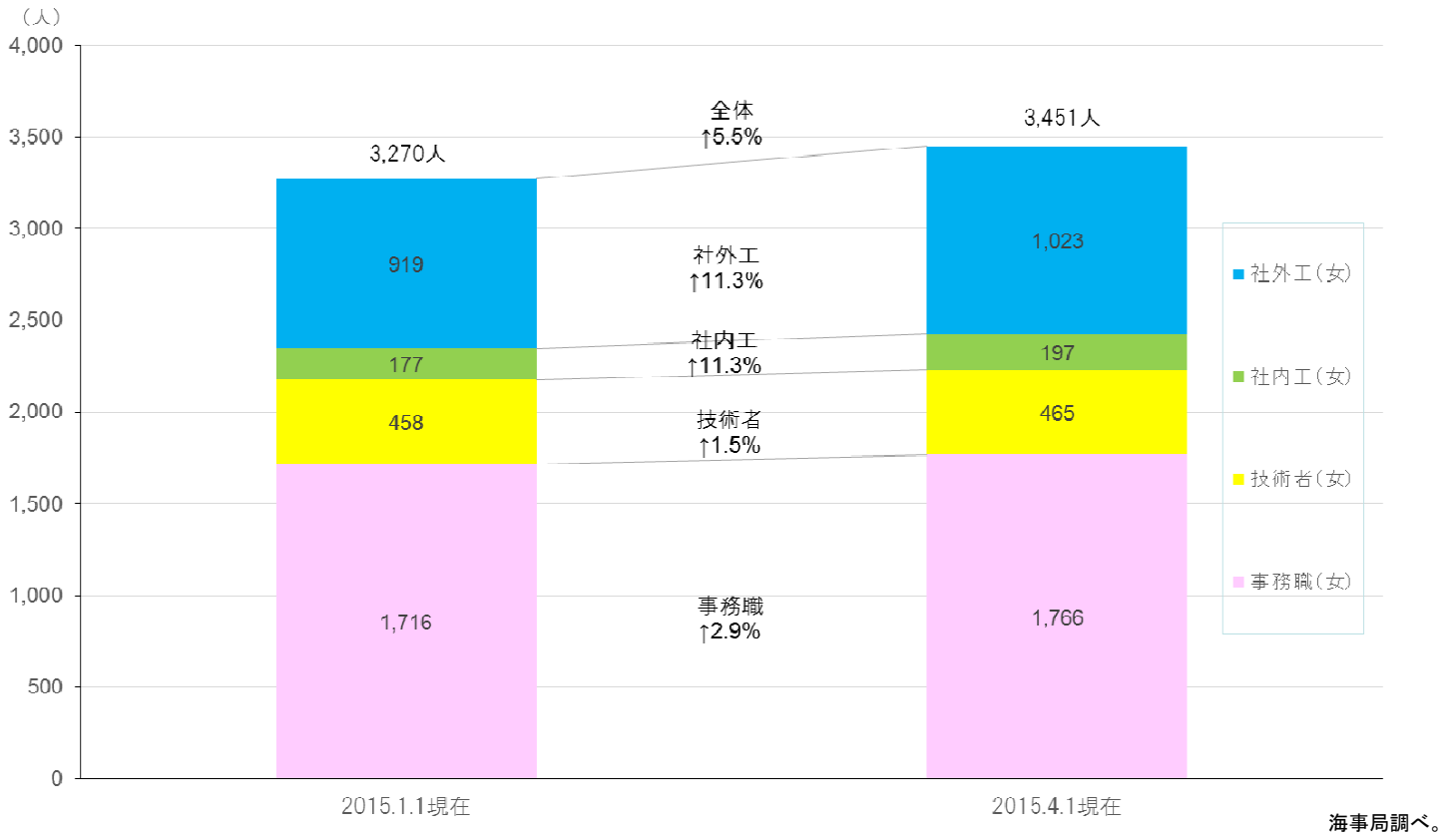
我が国造船業の就労者数の足下の傾向(2015年1月→4月)

全ての就労分野で就労者数が増加(3.9%増)。
特に、技術者が大きく増加(6.9%増)。



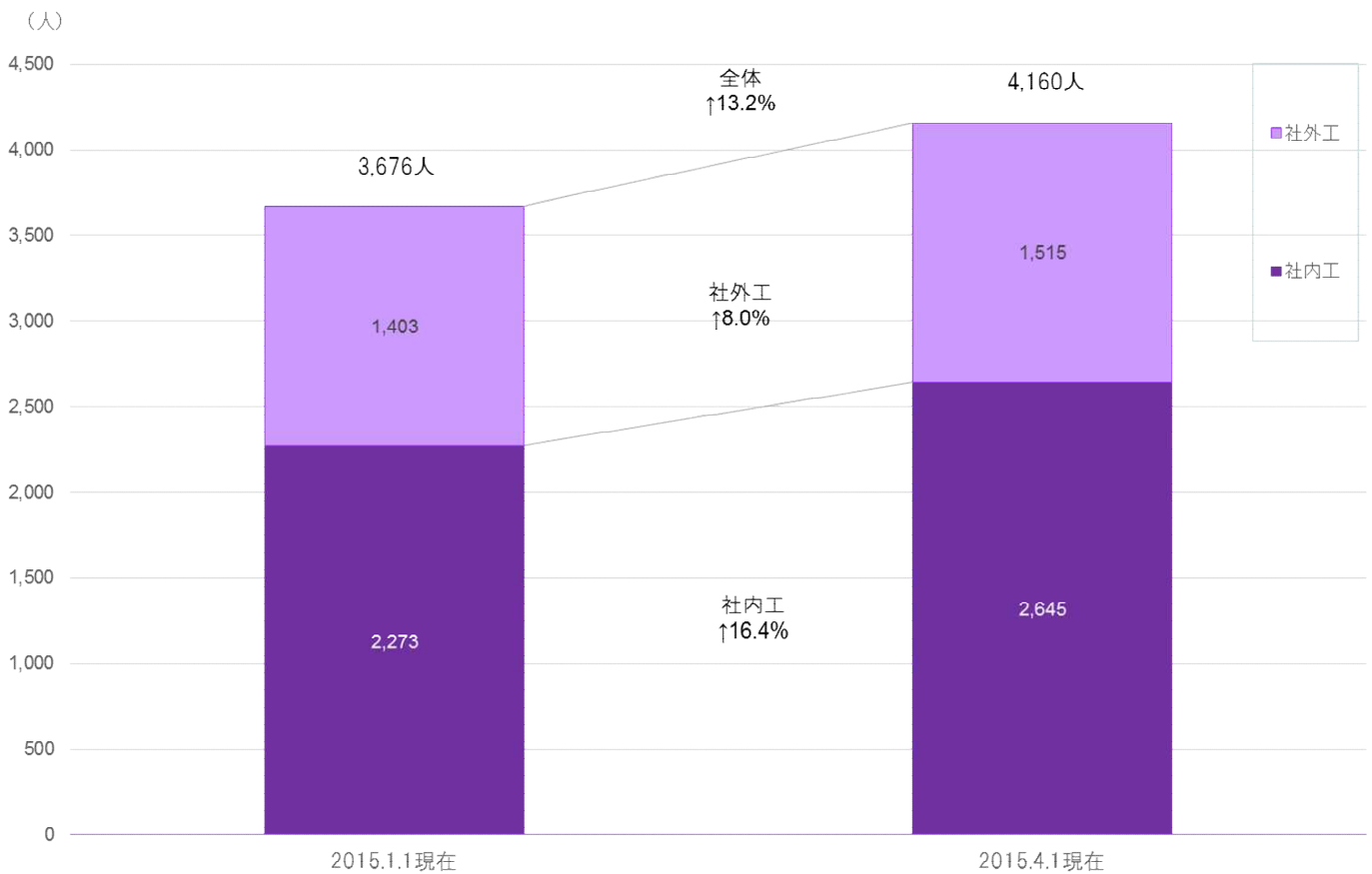
我が国造船業の女性就労者数の足下の傾向(2015年1月→4月)

全ての就労分野で女性就労者が増加し、全体で5.5%増(男性は3.8%増)。
特に、生産現場の女性技能工が大きく増加(社内工及び社外工共に11.3%増)。



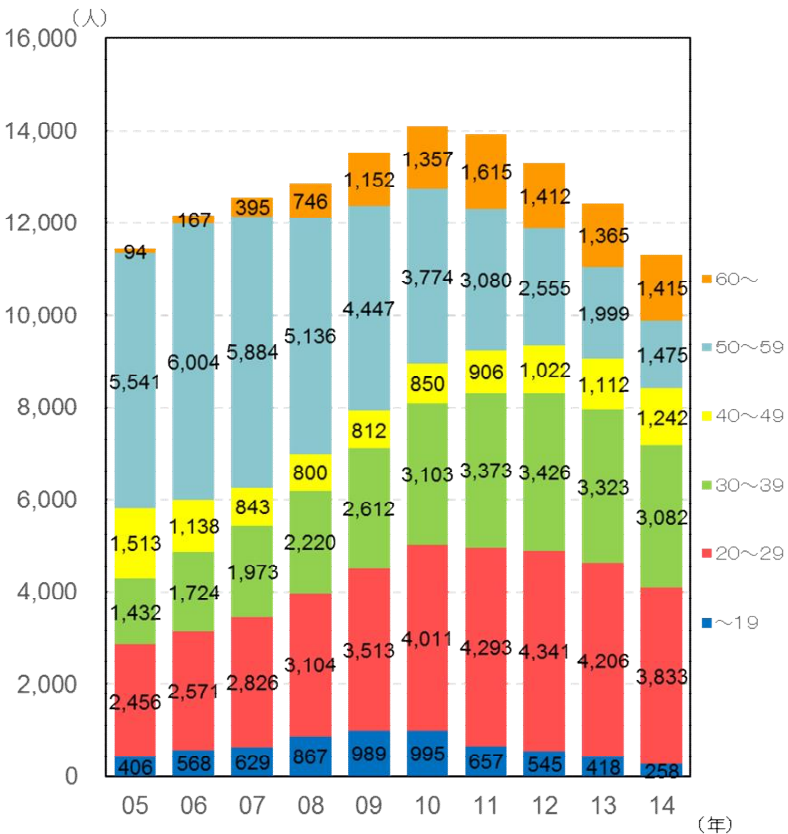
我が国造船業の外国人技能実習生の足下の傾向(2015年1月→4月)

社内工・社外工ともに増加し、全体で13.0%増。

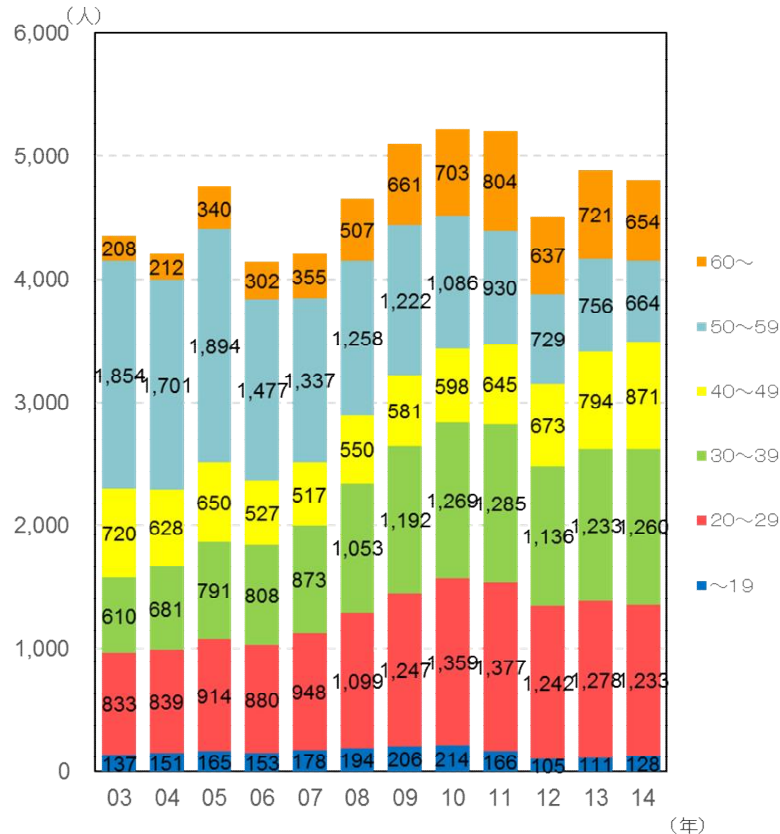


我が国造船業の技能者(社内工)の年齢構成推移

技能者(社内工)は、50代を中心として減少傾向。



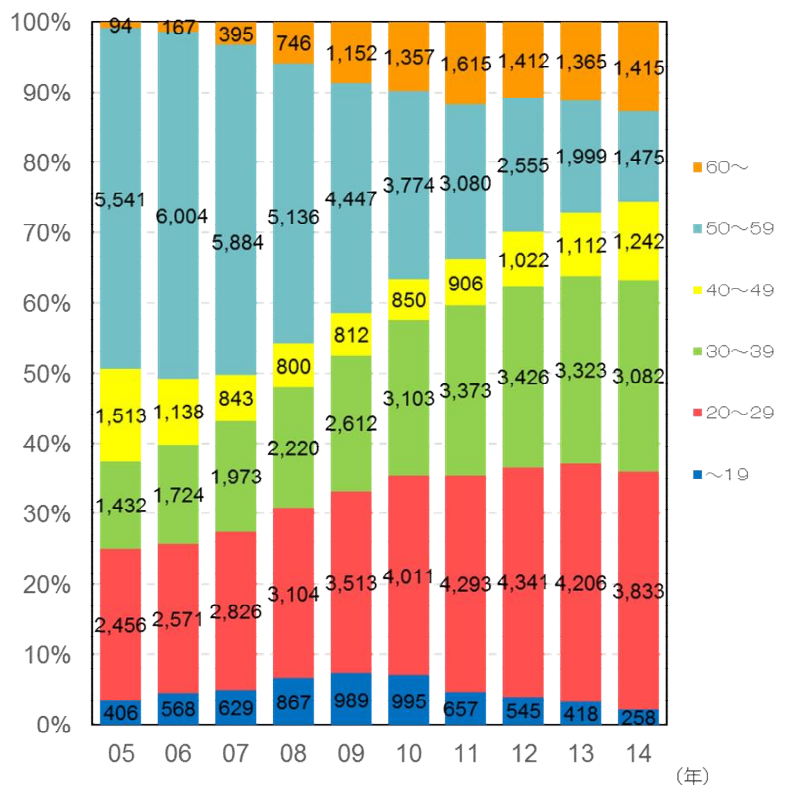
(一社)日本造船工業会調べ。毎年4月1日時点



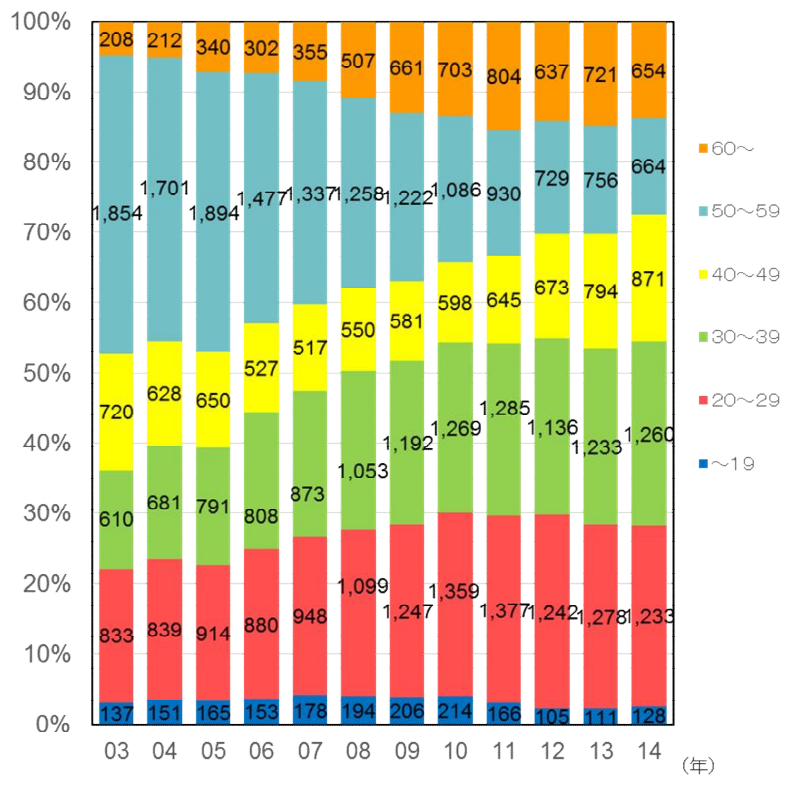
(一社)日本中小型造船工業会調べ。毎年6月末時点
※回答社数に変動がある。

我が国造船業の技能者(社内工)の年齢構成推移

技能者(社内工)の年齢構成は、20代、30代の割合が増加。
60代以上の割合も多い。



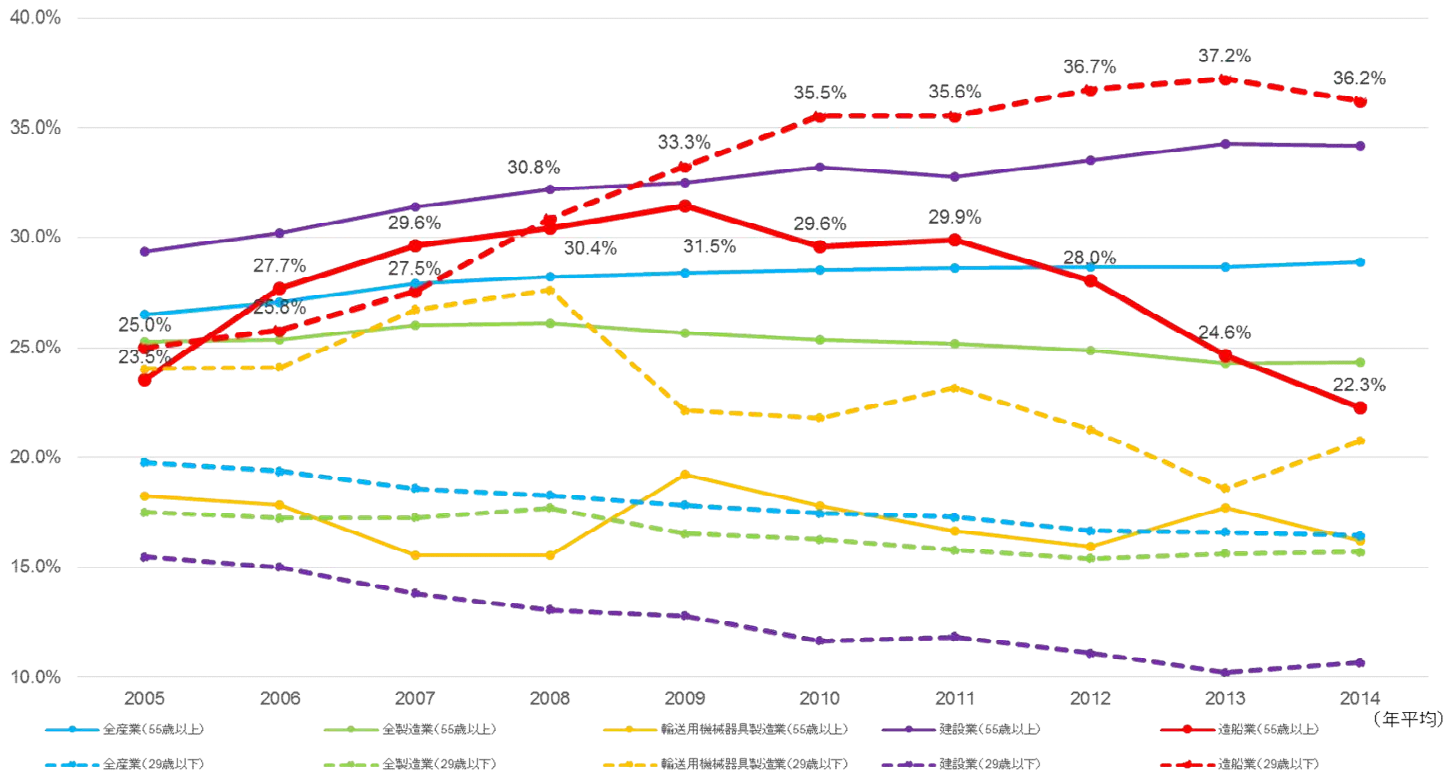
(一社)日本造船工業会調べ。毎年4月1日時点



(一社)日本中小型造船工業会調べ。毎年6月末時点
※回答社数に変動がある。

他産業の就業者の年齢構成推移

製造業は、全産業(28.9%)、建設業(34.2%)に比べ55歳以上の就業者割合が低い(24.3%)。
 造船業は、近年55歳以上の就業者より29歳以下の若年労働者の割合が高く推移しており、他産業に比べ若返りが進んでいる。



※1 労働力調査のH23分は東日本大震災により、岩手県、宮城県、福島県を除いた44都道府県の数値
 ※2 造船業は、(一社)日本造船工業会会員会社の回答を集計したもの。

出典：造船業は(一社)日本造船工業会調べ。その他は労働力調査による。